戦争を繰り返さないために自分にできること

半田市立半田中学校　２年　岩本　美桜

１　戦争の悲惨さを最も感じたもの

私が最も戦争の悲惨さを感じたものは、原子爆弾による被害です。資料館で被爆された人々の写真を実際に目にした時、こんなに悲惨なことが実際に存在したのかと疑ってしまうほどの残酷な光景に、息が詰まりました。原子爆弾によって数えきれないほど多くの方々が尊い命を落とし、戦争が終わった後も放射線による後遺症などで苦しみ続けました。原子爆弾は、人々の命だけでなく何気ない日常や笑顔、希望まで一瞬にして奪ってしまう恐ろしいものだと感じました。

２　最も復旧・復興を感じたもの

私が最も復旧・復興を感じたものは、広島の街です。原子爆弾により大きな被害を受けた広島ですが、人々は希望をもち、力を合わせて街を復興させていきました。現在では、多くの人々が暮らし、平和を発信する世界的に有名な街になっています。実際に広島を歩いてみると、原子爆弾が落とされた街とは思えないほど多くの建物があり、路面電車も走っていました。路面電車は原爆投下 3 日後に運行を再開し、戦後間もない広島の人々に大きな希望と勇気を与えたそうです。現在の平和な街と原爆ドームを実際に見たことで、広島は過去の被害を伝えながら復興を遂げた、平和について考えるための大切な街なのだと感じました。

３　広島平和研修で学んだこと

この研修を通して特に印象に残ったのは、戦争当時 13 歳だった新井さんの平和講和です。実際に戦争を経験した方から当時の広島の様子や、被爆の体験を直接聞くことで、戦争は教科書に書かれている昔の出来事ではなく、実際に生きている人々の人生を大きく変えてしまった出来事なのだと実感しました。戦争は言葉では表せないほど恐ろしいもので、国のために自分の命を犠牲にすることを求められる、とても辛いものだったということをより深く学ぶことができました。戦争を経験した方々の記憶や思いを、これからも大切に受け継いでいく必要があると思いました。

４　もう二度と戦争を起こさないために自分たちにできること

私達が今笑顔で平和に暮らせているのは、戦争を経験した人々がその恐ろしさを後世に伝えてくださったからだと思います。だからこそ、私達にできることは戦争の歴史について知り、学んだことを忘れず次の世代へ伝えていくことだと思います。また、お互いの考えを尊重し、対立しても話し合いで解決しようとすることも平和な社会をつくるために大切です。広島で学んだことを心に刻み、戦争がもう二度起こらないような社会をつくっていくために、これからも平和について考え続けたいです。そして、その大切さを周りの人や、次の世代に伝えていきたいです。